

電信課長

中封

大臣

次官

松岡

東亞 歐亞 米洲 通商 條約 情報 文化 調查 人事 儀典 文書 會計 秘書官

寫送先

昭和15 二三一〇八 暗 プラীগ 七月三十日後發 本 省 三十一日夜着 歐

松岡外務大臣

市毛總領事

第七一號ノ一

「スロバキア」「チソウ」大統領以下二十八日「ヒトラー」會見歸國後二十九日內務外務大臣「ジウルチャンスキー」辭職シテ「トウカ」首相カ外務ヲ兼任シ「シヤノマハ」宣傳部長カ內相ニ任命セラレ同時ニ伯林報道ハ同國駐劄獨逸公使更迭シテ「キルンガー」任命セラレタル趣ヲ報セリ右ニ付
一、同國ハ一黨ニシテ素ヨリ舊教第一反「チエク」且親獨ヲ基調トスルモ分類スレハ「チソ」以下古參組、「ジウルチャンスキー」

分類 10.6.1-27

外務省

2

以下「バンスラビズム」系及「シヤノマハ」系新國民主義青年系ト三派ヲ區別シ得ヘク「ジウルチャンスキー」ハ外務大臣ナルニモ拘ラス「ヒトラー」會見ニ參加セス而シテ其ノ直後辭職シタルハ其ノ間「ヒトラー」ノ意嚮ノ示サレタルモノアルヲ思ハシムルト共ニ親露系ノ退陣ヲ意味スルコト明カナリ
三「シヤノマハ」ハ新聞會見ニ於テ「ス」國ノ現状及未來カ確定的ニ保障サレタリト報シ同時ニ「ヒトラー」ニ對スル信服ヲ明カニシ(續ク)

外務省

電信課長

大臣
次官

東亞
歐洲
米商
通商
條約
情報
文報
調查
人事
儀典
文書
會計
會社
秘書
官

寫
送
先

昭和15 二三〇九三 暗

ブラーグ 七月三十日後發
本省 三十一日夜着

歐

松岡外務大臣

市毛總領事

第七一號ノ二

又新公使「メイキルンガー」ハ元「バルチック」義勇軍將校最近
桑港總領事ニシテ北米ニ於ケル第五列ノ指揮者ナリシトノ噂モ傳
ヘラレ今回「フリント」親衛隊長（獨逸ノSSニ相當）ニ任セラ
レタル「シャノマハ」ト「コンビ」ハ一層「ラジカル」ナル獨
逸化政策ノ開始ヲ豫想セシム
三右「シャノマハ」ノ會見内容ニ付テハ洪牙利ノ對羅要求ノ代リニ
「スロバキア」ノ一部ヲ與ヘラレ以テ「ス」ノ犠牲ニ於テ羅馬尼

外
務
省

2

ヲ獨逸側ニ引込ムコトトナレルヤニ最近當地ニ傳ヘラレタルニモ
關係アル次第ナル處要スルニ本件ハ獨蘇關係ノ大局ヨリスレハ獨
獨ノ對蘇警戒ニ出スル（脱）陣營化スル「リンク」ノ具現シタ
ルモノト存セラル
獨、露ニ轉電セリ

外
務
省

編者附言
邦本ノクニ
才力強ク
ハモテ
三存

寫

分類 A600.1-207

昭和15 二二三九八 暗 伯林 八月一日發
本省 二日後着 來栖大使

松岡外務大臣

第九九五號(極秘)

歐洲時局ニ關スル情報左ノ通り
「羅馬尼、勃牙利政治家ノ「ザルツブルグ」訪問ハ之ニ先行スル洪
牙利政治家ノ「ミューンヘン」訪問ト共ニ領土調整ヲ問題トシタル
コト勿論ナルカ獨ノ對蘇態度ニモ關聯スル意味ニ於テ興味アリ獨
ハ羅馬ニニ對シ將來南「ドブルジャ」ヲ勃牙利ニ、「トランスニ
ルベニア」ノ一部ヲ洪牙利ニ返還スヘキコトヲ通告スルト共ニ右
國境調整終了後ノ羅馬國土ヲ保障シ蘇聯ノ現在以上ノ南下ヲ斷
然阻止スルノ決意ヲ知ラシメタリ勃牙利モ亦其ノ失地回復要求買
徴ニ獨ヨリノ支持ヲ受タル代價トシテ蘇聯ニ對シ政策的ニ「コム

外務省

(日本標準規格B5)

「ミット」セサルコトヲ約束セリ
次ニ「スロバキア」政治家ノ出席セル「ザルツブルグ」會談ハ表
面ハ同國內政ニ關スルモノニシテ右會談ノ結果外相 *Blunck*
運キ *Mack* カ入閣シ内相トナリ外相ハ「バンスラビニズム」運動
ニ干與シ居リタルコト *Mack* ハ該運動反對者ナルコトヲ考慮セハ
右内閣改造ノ裏面ニ潛ム事情判明スヘシ

ニ獨ノ對英攻撃實施方針ニハ依然變リナク上陸作戰ノ準備ヲ整ヘ居
ルモ先ツ空襲ヨリ始ムル模様ニテ二十九日ノ「ドゥバール」爆撃ハ
其ノ第一歩ナリ空襲機ハ世界輿論殊ニ米輿論ニ與フル影響ヲモ考
慮シ一舉ニ數千機ヲ使用スルノ方法ヲ執ラス其ノ機數ヲ除々ニ増
加スル方針ノ如シ英國内輿論ノ動向ニハ獨トシテ關心ヲ有シ居ル
處最近波米ノ途上「ウインザー」公ハ里斯本ニテ英外務省員ノ出
迎ヘテ受ケ會談ノ後最初ノ決定ヲ變更シ一應倫敦ヘ歸リタル事實
アリ和平分子ノ動キハ依然トシテ絶エサルモノノ如シ只獨トシテ

外務省

(日本標準規格B5)

寫送先

東亞 歐亞 米洲 通商 條約 情報 文書 調查 儀典 文書 會計 秘書官

大臣 次官

大 供

電信課長

1-37

昭和15 二五三六七 暗
 八月十九日後發
 本省 二十日前着
 歐

松岡外務大臣
 市毛總領事

第七六號

保護領治政ニ關シ「チエク」國民黨一黨ニ纏メツツアル經緯ハ既
 報ノ通りナルカ右組織ニ洩レ而シテ其ノ親獨政策ヲ尙手緩シト爲
 シ居タル際右翼「ウライカ」一派ハ十日黨會合ノ席ニ押寄セ警察
 隊トノ間ニ拳銃打合ノ結果負傷者及拘留者ヲ出セリ「チエク」人
 内部ノ事柄ナルモSS一部ノ後援アリタルラシク獨逸ノ出方注意
 セラレタル處記事差止ノ儘「ハーハ」ハ黨ノ改組及其ノ指導精神
 ハ國家社會的ナルコトヲ談話シタル上右團體制服ノ禁止及「デモ

外務省

ハ之ニ餘リ期待ヲ掛ケ居ラサルコト勿論ナリ
 「洪牙利側ノ得タル情報ニ依レハ現在東「プロシヤ」ヨリ洪國國境
 ニ至ル線ニ配置セラレタル獨軍兵力ハ五十萬ト言ハル又現在洪牙
 利ノ對蘇國境ニハ獨軍指揮ノ下ニ獨逸人勞動者
 「トット」ノ「オルガニゼイション」カ築城シ居ル模様ナリ
 尙蘇聯ハ獨カ對英攻撃ヲ開始セハ「イラン」、「イラク」方面ニ
 出兵スヘントノ噂ラナリ
 伊、蘇、土、米、壽府、洪、勃、羅、「イラン」、「イラク」ニ轉
 電セリ
 壽府ヨリ英へ轉電アリタシ

外務省

(日本標準規格B5)

2

ンストレイション」ノ際「チエク」人ノ獨逸國旗使用禁止ヲ布告
シ右ニテ一先ツ治マルヘキ模様ナリ（了）

外務省

REEL No. A-0653

電信課長

大臣

次官

東亞 歐亞 米洲 通商 條約 情報 文書 調查 人典 儀典 送先

分類 A.6.00 1-37

昭和15 二七七〇三 暗 本 省 九月九日後發 十日 前着 歐・通・情

松岡外務大臣 市毛總領事

第七九號ノ一

大使館依囑調查事務中本官一時歸館シタル處

「チエツク」人間ニ於ケル殿リ合ヒ事件（往電第七六號）ニ關

シ「ハーハー」カ國民統一黨役員ノ）任命替及其ノ後共「ウライ

カ」ヲ無視シ居ルコト一部ノ間ニ險惡ナル空氣ヲ醸成シ居ルモ

ノノ如ク獨官憲側ハ猶傍觀シ居ルモ御用紙「ノエタハ」ハ國民

統一黨ヲ非難シ居レリ此ノ種「チエツク」人間ノ争ハ無事ニ收

マラスンハ常ニ獨逸ニ依リ自治撤廢ノ危險ヲ「チエツク」人自

各子内政 保存 スロウヤアノ部

外 務 省

電信課長

大臣

次官

東亞 歐亞 米洲 通商 條約 情報 文化 調查 人事 儀典

本信寫挿入先

類別	項目	目録	順序
3	4	0	6
1	2	1	3

80 1-37

昭和15 二七七〇三

ブラハ 九月九日後發 十日に着

歐・通・情

松岡外務大臣

市毛總領事

第七九號ノ一

大使館依囑調查事務中本官一時歸館シタル處

「チエツク」人間ニ於ケル殿リ合ヒ事件（往電第七六號）ニ關

シ「ハーハー」カ國民統一黨役員ノ）任命替及其ノ後共「ウライ

カ」ヲ無視シ居ルコト一部ノ間ニ險惡ナル空氣ヲ醸成シ居ルモ

ノ如ク獨官憲側ハ猶傍觀シ居ルモ御用紙「ノエタハー」ハ國民

黨ヲ非難シ居レリ此ノ種「チエツク」人間ノ争ハ無事ニ收

スンハ常ニ獨逸ニ依リ自治撤廢ノ危險ヲ「チエツク」人自

各社内政
スロウキアノ部

外務省

ラ 慎レ 居ル 點ニ 於テ 注意セラル

ニ 來ル 十月 一日 關稅ヲ 撤廢スルコトニ 決定シタル 趣内報アリ 今春

一旦 撤廢ヲ 決定シタル 上 延期シタル 事情ハ 既報ノ 通りナル 處獨

逸トシテ ハ 引續キ 其ノ 時期ヲ 考究シツツアリタル 次第ニシテ

(續ク)

外務省

電信課長

大臣 次官 供覽

次官

東亞 歐亞 米洲 通商 條約 情報 文書 調查 人事 儀典 文書 會計 秘書官

寫送先

昭和15 二七七二八 暗 プラハ 九月九日後發 歐、通、情
 本省 十日後着

松岡外務大臣 市毛總領事

第七九號ノ二

其ノ後「ユーゴスラビア」及勃牙利トノ間ニ取極メタル協定
 中ニハ共ニ關稅撤廢ノ場合ハ保護領ニ効力ヲ擴充スル趣旨ノ條
 項アリ尙撤廢後ノ結果ニ付右内報ニ依レハ

(1)各國ニ對シ獨逸ヨリ直ニ舊條約ノ廢棄ヲ申出ツ意嚮トハ決定
 シ居ラス大シテ不都合ナキ限リ理論ハ別トシテ差當リ同様ノ
 取扱ヲ續ケ行ク模様ナリ尤モ土耳其ハ本月三日土耳其側ヨリ
 通告シタリ

外務省

(四) 通貨ノ平衡モ現状維持ノ模様但シ「クローロン」ハ對外爲替
トシテノ機能ヲ失フモノト豫想セラル(了)

(不明箇所問合中ノ爲遅延 電信課)

外務省

「スロヴァキア」國概観 (一) ムーベニハ歐二)

昭和十三年九月二十九日「ミュンヘン」四國會談後「スロヴァキア」ハ「ルテニヤ」ト共ニ舊「チエコ、スロバキア」國內ニ於テ自治ヲ容認セラルル事トナリタルガ其ノ後「スロヴァキア」ハ絶エズ自治權擴張ノ要求ヲナシ來リタルニ對シ「ブリタニヤ」中央政府ハコレヲ容レズ彈壓政府ヲ以テ臨ミ事態紛糾シ居リタル處「スロヴァキア」ハ昭和十四年三月十四日遂ニ獨逸國ノ援助得「スロヴァキア」唯一ノ公的機關タル「スロヴァキア」國民議會ハ「スロヴァキア」ノ獨立及其ノ現國境內ニ「スロヴァキア」國家ノ設立ヲ宣言スルニ到リタリ

同國ハ其ノ獨立宣言後直チニ我國ニ獨立國家トシテノ承認ヲ求

外務省

(日本標準規格B5)

メ來レルガ帝國及滿洲國ハ六月一日之ヲ承認セリ

ニ「スロヴァキア」ハ中部歐羅巴ノ中央ニ位シ面積約一萬八千九百平方哩人口約三百三十三萬（「スロヴァキア」人ハ全人口ノ約三分ノ二ヲ占メ他ニ「マジヤール」人約六十三萬獨逸人約十四萬「クライナ」人八萬「チエコ」人七萬「ユダヤ」人七萬）住民ハ主トシテ農牧林業ニ従事ス「スロヴァキア」人ハ「スラブ」系「スロヴァキア」族ニシテ西「スラブ」語系ノ一タル「スロヴァキア」語（「チエコ」語ニ近似ス）ヲ話シ人口ノ約三分ノ二ハ「ローマ」ンカソリツク」ニ屬シ他ニ新教五十三萬人其他ナリ住民ノ教育程度ハ高カラズ「スロヴァキア」人中一五、七「バーセント」、
「マジヤール」人中一〇、二「バーセント」獨逸人中九・五「バー

（日本標準規格B5）

外務省

セント」ハ文盲ナリ

ニ昭和十四年三月二十三日獨逸國ト締結シタル保護條約ニヨレバ獨逸國ハ「スロヴァキア」國ノ政治的獨立及領土保全ノ爲コレニ保護ヲ加ヘ右保護關係ニ應ジ「スロヴァキア」國ハ軍事外交ニ付獨逸國ト密接ナル聯絡ヲ保ツ事トナリ居ルモ尙同國ハ軍事外交ニ付獨立ヲ保持スルコトトナリ居レリ、右保護條約ニヨリ獨逸ハ「スロヴァキア」國內一定ノ地域ニ要塞ヲ構築シ又駐兵權ヲ有スルコトトナリ居レリ
「スロヴァキア」國新憲法ニヨレバ同國ハ一ノ大統領制又ハ國家政黨制共和國ト稱スヘク「フリンカ」ナル國家統一黨アリテ「ファシスト」伊太利亞ノ色彩強シ議會ガ選舉スル任期七年ノ大統領

（日本標準規格B5）

外務省

(分類 6.0.0. 1-37)

電 信 業	電 信 省	電送第 28087 號		主管 歐亞局長
		昭和 16 年 7 月 25 日 午後 8 時 05 分發	主任 三浦長	昭和 16 年 7 月 25 日 起草
南京國民政府より照會アリタルニ付「スロヴァキア」國 正確に呼ぶ。元首若。各國條名ヲ官職名 ト共答原語ヲ附シ折返シ回電アリタル		件 等照會ノ件	宛 大島大使	發 豊田大臣
第 六 九 四 號		記録件名		

(日本標準規格 B5)

ハ政府ヲ任命シ右政府ガ行政ヲ行フ外參議院アリテ閣僚ヲ訴追シ得或ル意味テ政府ノ上ニ位ス參議院ノ主要任務ハ議會選舉ニ當リ被選舉人名簿ヲ作成スルニ在リ

四 今日迄「スロヴァキア」ヲ承認セル國家
獨逸、波蘭、洪牙利、羅馬尼、日本、滿洲國、蘇聯、伊國、
「スロヴァキア」締結セル條約
獨逸「ス」國間保護條約、獨「ス」間清算協定、獨「ス」旅行協定、獨「ス」通商協定、「ス」伊通商協定、獨「ス」鐵道協定、「ス」國ノ三國條約參加ニ關スル日獨伊、「ス」國間議定書

(日本標準規格 B5)

REEL No. A-0653

アジア歴史資料センター

分類
目録
5-80000

電信課長

大臣

次官

東亞
歐亞
米洲
通商
條約
情報
文化
調查
人典
儀典
文書
會計
會社
秘書
官

寫送先

(分類A 6.00.1-37)

昭和16 二二〇七八 平 伯林 七月二十六日後發 歐
本省ノ 二十七日夜着
豐田外務大臣
第九四五號
大島大使
貴電第六九四號ニ關シ(「スロバキヤ」國閣僚名等照會ノ件)
「スロバキヤ」共和國大統領 Dr. Jozef Tiso
首相兼外相 Prof. Vojtech Tuka
副首相兼內相 Alexander Mach
臧相 Dr. Mikuláš Pružinsky
經濟相 Dr. Gejza Medricky
文相 Jozef Sivak

記録名諸外國由係手帳

(記)

外務省

REEL No. A-0653

電信課長

大臣

次官

東亞 亞細 歐洲 通商 條約 情報 文化 調查 人事

本信寫挿入先

1	7	0	0	8	14
類	項	目	號		

寫送先

秘書官

(分)

昭和16 二二〇七八 平 伯林 七月二十六日後發 本省ノ 二十七日夜着 歐

豐田外務大臣

大島大使

第九四五號

貴電第六九四號ニ關シ「スロバキヤ」國閣僚名等照會ノ件

「スロバキヤ」共和國大統領 Dr. Jozef Tiso

首相兼外相 Prof. Vojtech Tuka

副首相兼内相 Alexander Mach

Dr. Mikuláš Pružinsky

Dr. Gy. Geiza Medricky

文相 Jozef Sivak

記 諸外國由

外務省